

# **大住ふれあいセンター整備基本構想（案）に係る パブリックコメント結果**

- (1) 案件名 大住ふれあいセンター整備基本構想（案）  
(2) 募集期間 令和6年7月11日（木）から令和6年8月9日（金）まで  
(3) 意見提出者 50名  
(4) 意見の数 106件  
(5) 意見への対応内訳

対応区分	件数
(計画 or 条例) に追加又は修正するもの（追加・修正）	26件
(計画 or 条例) に趣旨を記載済みのもの（趣旨記載）	14件
(計画 or 条例) の（実施 or 施行）段階で参考とするもの（参考）	65件
その他	1件
合計	106件

整理番号	ご意見の概要	対応	ご意見に対する考え方
1	高齢者にとって宝生苑は大変使いやすい施設と成っており、今回の構想案がどういった経緯の中から出されてきたのか理解に苦しみます。	趣旨記載	現在の施設は築 19 年が経過し、空調などの設備機器の更新時期を迎えており、雨漏りやお風呂など修繕を行う頻度が増加しております。また、アンケートやワークショップ等から見えてきた現在の施設の現状と課題や市民のニーズ等を踏まえて、施設の機能を見直し、現代のニーズに合った、幅広い世代が利用できる施設となるよう整備する必要があると考えております。
2	基本構想の基本方針 誰もがという多目的は無目的になることが多い。	趣旨記載	年齢で区切られることにより、今まで居場所として利用できていた方が、来ることができなくなったり、対象年齢となり改めて利用するときには気後れして、利用しにくいとのご意見もありました。年齢に関係なくご利用いただけるようにすることで、居場所や相談の場として誰もが気軽に利用できる福祉の拠点を目指してまいります。 現在の施設の対象の方には、高齢者支援及び子育て支援としての機能の充実をさらに図ってまいります。
3	整備方針中の高齢者の健康づくりスペースや子どもの自習スペースなどの機能拡充が求められていることは是認する。現行の大住ふれあいセンターは、老人福祉センター及び児童館の機能を拡充するため再整備する。特に世代を超えた運動・健康づくりスペースや自習スペース、交流スペース、知育・娯楽スペースの整備・拡充を図ること。	趣旨記載	健康維持のための介護予防体操やヨガ等のスペースが狭いとのお声をいただいており、「健康づくりスペース」として拡充を考えております。また、子どもからのニーズが高い「自習スペース」を新たに設ける予定です。なお、自習スペースは、子どもに限らず誰もが利用できる機能とし、ゆっくりと静かに過ごすことができる「読書スペース」としても利用いただける予定です。多くの要望があった「カフェ」を設け、「くつろぎスペース」、「憩いスペース」と合わせて、誰もが

			<p>気軽に利用でき、多様な世代が集うことができる場、さまざまな方の居場所やくつろぎの場とする予定です。</p> <p>屋外には、介護予防やいきがいづくりの場、子どもが土にふれあう場となる「園芸・畑スペース」、ボール遊びもできる「屋外運動スペース」などを設ける予定です。</p>
4	<p>今度の基本構想案については、会員の方からは「まだよくわからない」という意見が圧倒的多数です。市民の声をよく聴くことが特に必要だと思います。「市民の税金を使って改善するのですから」「なぜこうした案がでてきたのかよくわからない」と。今回示されている案が、どこでどのように討議をしてきめられたのか、なぜ市民の声や利用者や団体の意見を聞く機会を設けなかったのか、知らせてほしい。</p>	趣旨記載	<p>60歳以上の方に老人福祉施設に関するアンケートを実施しました。北部の地域にお住まいの方の割合は、対象1,000通のうち約39%、回答いただいた566通うち約41%の方でした。</p> <p>市民アンケート以外にも、団体やサークルを含む施設利用者を対象にヒアリングや意見箱の設置をし、107通の回答をいただいております。</p> <p>また、市民ワークショップにつきましては3回継続して開催し、回を追うごとに欲しい機能や必要な機能について話し合い、まとめていただいたところです。</p>
5	<p>アンケート対象者より 60歳以上1,000通は北部60歳以上の何%? また回答566通はうち何%? これをもって全体考察、意見集約とするのは妥当なのか疑問。現在利用しているサークルにもアンケートをとってほしかった。</p>		<p>アンケートやワークショップ等から見えてきた施設の現状と課題や市民のニーズ等を踏まえて、施設の機能を見直し、現代のニーズに合った、幅広い世代が利用できる施設となるよう整備する必要があると考えております。</p>
6	<p>私たち利用させていただいているほとんどの者が3回目話あったって??今まで話し合いあった事も知らない。知らされていない状態です。</p>		

7	今回の施設の改修に対する、周知が利用団体にも知らせていない。周知徹底が必要。		
8	子育て広場が増えることはけっこうですが児童館の機能は残していただきたい。京田辺にも例外なく子ども食堂やフードバンクがあります。このことは「生活に困難な子どもたちが居る」ということでもあります。児童館の役わりは18歳までの子どもたちの発達を見守り、フォローする大切な居場所です。自分が悩んだ時、親や教師以外に話を聞いてくれる人、守秘義務を守れるプロが必要。子どもは地域で社会で育てて行くもの。子ども1人育てるのに1村いるとも聞きました。第3者の存在は子どもに多様性を学ばせます。どうか児童館機能は残して頂きたい。	趣旨記載	今回の整備により児童館の対象年齢（18歳まで）以上の方もご利用いただけるようにすることで、施設の利用者が成長され、若者や大人になられても訪れていただける場として、切れ目なく「こども・若者等の居場所」となることができると思っております。利用年齢の区切りをなくすことで、法律で定められている「児童館」として専用で備えなければならない設備について、限られた面積の中で確保することは難しいことから、「児童館」という呼称はなくなりますが、基本方針「切れ目のない身近な子育て支援の場」の中の「児童館機能と地域子育て支援センターを併せ持つことで、切れ目のない子育て支援を実施します。」との記載のとおり、児童館機能は維持することとしています。 また、「相談スペースを充実させることで、気軽に相談ができ、不安解消につながる身近な場所になるようにします。」との記載のとおり、安心して過ごしていただき、身近で気軽に相談できる場としてまいります。
9	大住ふれあいセンターがリニューアルされると聞き、古い施設が新しくなったり、利用年齢、時間の幅が広がることについては大いに歓迎するところです。 しかし、「児童館」という名称がなくなるかもしれませんと聞き、元利用者として意見を述べることにしました。 小学生の頃に、親でも先生でもない斜め上の大人（児童館の先生）と話したり、遊んだりする中で、自分の居場所と感じることがとても多くありました。人生の節目で話を聞いてくださる先生方の温かい心遣いに安心し、自		

	<p>己肯定感が高まる思いをしました。周りで利用していた児童の中でもそのような効果を感じていた児童は少なからずいます。「こどもまんなか」を提唱する前から京田辺の児童館は子どもたちの第三の居場所であり続けています。児童館が足掛けかりとなって社会に羽ばたいていく人たちを何人も見てきました。そして、利用者が親になってから子どもを連れて訪れ、当時を知る先生方と話をして、懐かしみ、次世代につながっていくことを実感できる状況が、京田辺市には児童館文化として根付いています。これは京田辺市として誇らしいことだと思います。</p> <p>大住児童館も19年の歴史の中で、そのような文化を紡いでいるので、新しいふれあいセンターになったときにも、その文化を継承できるような体制をとっていただきたいです。できれば「児童館」という呼称を残してほしいです。</p>		
10	高齢者の定期的に体操する場所は貴重です。ふれあいホールはなくさないで下さい。	趣旨記載	基本方針「くつろぎと健康・いきがいづくりの場」の中の「高齢者のニーズの高い健康づくりを行うスペースを拡充することで、いきいきと健康で住み続けることができるよう支援します。」との記載のとおり、体操等を行っていただくことを想定した「健康づくりスペース」を現在の「ふれあいルーム」より拡充し、高齢者の健康やいきがいづくりの場となるようにして
11	<p>3B 体操で使用させていただいておりますが、メンバー90才 80才 70才代の人達が集まって顔を合わせ、お話をし、体操を通じて元気に健康な体でいつまでも続けたいとみなさんで話しております。</p> <p>高齢になると行くところがあり、歩いて行け</p>		

	る場所が一番元気で長生きの秘訣だと思います。サークルの使える場所はなくさず、地域に根ざした生々高齢者をめざして計画を立て下さい。		いきたいと考えております。 利用者アンケート、老人福祉施設に関する市民アンケート、市民ワークショップ等からも、健康維持、気兼ねなく行ける・居られる場所、適度な人との関わりを求めておられるという声が出されており、健康志向の高まり等の高齢者のニーズの変化が見受けられました。これらを踏まえ、より多くの方にとってくつろぎと健康・いきがいづくりの場となるよう、整備及び運営面を検討してまいります。
1 2	健康づくりスペース 今按摩器が 26 台ほど置いてありますが、この場所におかれるのか。置くとするなら、ヨガや 3B 体操など一緒に使うというのですか。どちらも余り良い気分では、ないかと思います。仕切りをするとしたら、狭くなります。	趣旨記載	ヨガや 3B 体操等ご利用いただいている「ふれあいルーム」が狭いとのお声をいただいておりますので、「健康づくりスペース」として拡充を考えております。マッサージ機等の健康器具につきましては、故障や老朽化していることから、今回の整備の際に撤去することを考えております。
1 3	基本方針「くつろぎと健康・いきがいづくりの場」について  ・「健康づくりを行うスペースを拡充」とあり、p7 「ゾーニングイメージ図」に広いスペースがありますが、ここに健康器具も置くことになるのでしょうか？個人で健康器具を使っている横で、ヨガや 3B 体操サークルをするということになるのでしょうか？		
1 4	スカイウエルはなくして普通の座れるイスの類いでも良いが、マッサージ機はもっと充実		

	させて欲しい。(今も故障のまま実質台数一台減だがこんなことがないように) 万一数台動かなくなつても、順番待ちをしなくてもよいだけ多くの台数を設置しておいて下さい。		
15	風呂は高年の人には必要です。もう一度検討して下さい。	追加・修正	本施設は、限られた面積の中、また、限りある資源や財源を有効に活用しながら、高齢者のニーズの変化に対応し、より多くの方にご利用いただけるように機能を新規拡充する必要があります。
16	風呂は残して下さい。悪くとも現状通り、できればもっと長時間(風呂の終了15時をもっと遅く迄)利用できるようにして下さい。		また、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けていただけるように、介護予防や社会参加となる事業を実施していく必要があると考えております。利用者アンケート、老人福祉施設に関する市民アンケート、市民ワークショップ等において、お風呂が必要とのご意見があつた一方で、お風呂は不要とのご意見もありました。その中で、お風呂につきましては、利用者の減少や固定化が見られる、他の機能と比べて維持管理に高額な費用がかかる、市内に民間の温浴施設が立地していること等を総合的に検討した結果、お風呂の廃止を考えております。
17	先人達が立案され完成したこの現在の状況が今消されようとしています。イヤ消されるのです。お風呂が良い!風呂は気持ちいい!なくなるのってイヤだ。完成した当時の先人の苦労を思い、私は毎日感謝していたのだ。良い所を造ってくれたと。継続しないでなくしてしまうとはどう言う事なの。		なお、お風呂の営業日を減らしたとしても、衛生上及び維持管理の観点から、費用削減等の効果は見込めないと考えております。
18	風呂は是非続けてほしい。		市民説明会等での「お風呂の廃止がわかりにくい」とのご意見を踏まえ、基本方針の「くつろぎと健康・いきがいづくりの場」の項目の「地域包括支援センター・相談室の拡充、高齢者を対象とした事業を実施する
19	いつもお風呂に入れてもらってありがとうございます。ここがなくなつたらどうしたらいいねんやろ。		
20	入浴施設が地域高齢者の生きがい作りとして重要な役割を果たしていると思います。運営維持に経費や人手がいると思いますが、利用者本人から年会費をとるとか検討してほしかったです。利用者の声を反映されてないと思います。2日前位に風呂閉鎖をきいてパニック		

	クになった人がいたそうです。	
2 1	自分は風呂を利用していないが、多数の利用者がいる様におもう。どうしたら残せるか考えるべき。民間にまかせるのも1つの手段である。	ことで、健康づくり・介護予防・高齢者支援の取組を進めます。」を「より多くの方にご利用いただけるよう、浴場を廃止し、地域包括支援センターや相談室の拡充、高齢者を対象とした事業を実施することで、住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、健康づくり・介護予防・高齢者支援の取組を進めます。」に修正しました。
2 2	風呂など施設有料化でも残して下さい。	他の高齢者と入浴することでの、安心や交流の側面があることは把握しておりますが、介護予防の取組や地域包括支援センターの機能を充実させることにより、日常生活の不安の解消につながるよう相談機能等の強化に力を入れてまいります。
2 3	オフロだけはやめないで下さい。 オフロに料金をとって下さい。	カフェやくつろぎ・憩いスペースで集い、多くの方と交流いただき、高齢者を含め、市民の方にとって、くつろぎと健康・いきがいづくりの場となるよう、整備及び運営面を検討してまいります。
2 4	「風呂がなくなる」「有料化」になることが心配の声が多くあります。 老人福祉センターは施設が無料で、お風呂はあるのが当たり前になっています。しかし市の案では利用者の声を無視しているのではと感じています。	
2 5	アンケート（令和5年2月）では施設の利用目的「サークル、クラブ活動」が20.8%で最も多く、次いで「入浴」が、16.8%です。なぜなくなるのか、検討された内容を知らせてほしい。「入浴」は続けてほしい。	
2 6	風呂の取りとめについては、一考してほしい。どうしてもだめなら、2日に1回にするとか一考してほしい。寒くなったら利用者も増えると思います。	
2 7	風呂は是非とも存続してほしいです。 理由 ①自宅風呂の清掃管理が年々重荷になってき	

	た。 ②いろいろな地区や年齢の方と対話できいくつになっても人生勉強ができます。まさに「宝」です。	
28	私はお風呂の利用はしておりませんが、されている方々は社交の場となっており、高齢者の身心の健康に役立っていると思います。なくなるのは利用者的人にはショックなのでは？充分な説明が必要だと思います。	
29	ゆいー、ここのお風呂だけが救いだったが、それをなくすのはどういう意図か。セツメイもない。	
30	ここのお風呂に来ることが私のストレスをやわらいでくれます。一番のたのしみ、なくさないで下さい。老人が集まる楽しみをなくさないで下さい。お風呂がなくなれば、宝生苑を利用する事はありません。	
31	お風呂は毎日通っています。楽しみにしています。	
32	宝生苑のお風呂をなぜ無くすのですか。入浴をしている人にきましたか。入っている人間としてお風呂をのこして下さい。宝生苑のお風呂にはいろいろと思うだけで、 • 生きる目的がはっきりする。 • 体がよろこぶ。 • 心が満足感につつまれる。 • やさしい気持ちになれる。	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感謝のことばがお風呂ありがとうと言える。</li> <li>・生きいき・ピンピン・コロリの基本に宝生苑お風呂を老人政策の柱にしてのこす様にしていただきたい。</li> <li>・老人の先輩が後輩の老人に心をください、宝生苑に老人の幸せの日日としてお風呂をのこして下さった。</li> <li>・他の市お手本と成って下さい。新しい京田辺市を他市に見せてください。</li> </ul>	
3 3	お風呂で知り合った方とのおしゃべりです。私たちの楽しみのお風呂をなくさないでください。	
3 4	宝生苑のお風呂を利用させて頂いております。母の介護の日々を送っており、体調の良い日はデイサービスを利用して、自由な時間をこちらのお風呂に入り、皆さんと雑談する時間が唯一ストレスを発散できる幸せの時間です。もしお風呂がなくなったら、この癒しの時間もなくなるということになります。心と身体のバランスを保つ唯一の施設です。お風呂が無くなるかもしれないお聞きした時は、両手、両足をもぎとられた様な気持ちになりました。もしまだ決定していないのでしたら、是非是非残して頂きたいと思います。維持費の為に有料にされてもよろしいのは・・・。	

3 5	<p>いつも無料のお風呂に入らせて頂き感謝しております。水道代、ガス代にも大いに助けて頂いております。皆様との情報交換の場所ともなっております。お風呂が無くなりますと一人でお風呂に入らなければならず、老人の楽しみの為にもお風呂の継続をお願い申し上げます。</p>	
3 6	<p>いつも 11 時頃に着いて、マッサージをして、それからお風呂に入り、皆とおしゃべりして、またマッサージをして食事をして帰ります。もしお風呂がなくなったら家のお風呂でたおれたら誰もみつけてくれずに死んでいくことでしょう。ここを作った苦労をわかつてますか？</p>	
3 7	<p>①お風呂は毎日の日課です。      ②人とのあいさつ、声を出して話できる。医療相談等、いい知識のある人は教え、又は教えてもらっています。      毎日の生活の中でこんなありがたい事はなく、認知症にならなくて本当にいい所やねーとみんな言っているのです。老人対策として、どんな計画があるんでしょうか？うかがいます。</p>	
3 8	<p>説明会やワークショップに参加して感じた事は、お風呂の反響が凄かったことです。早めになくなる事をアナウンスされた方が、皆さまや職員の為になるかと。児童館に遊びに</p>	

	行った際に、説明会の時のような争っている姿をこどもに見せたくないと思います。		
3 9	お風呂は災害等、住宅事情等で必要です。		
4 0	介護風呂は残してほしい。 家の風呂では手すりもなく1人では入浴できません。デイサービス施設は6時間のサービスはありますが、どこの施設も入浴だけはやってくれません。やっと探した施設が宝生苑でした。京田辺市では宝生苑だけという、とても貴重な存在です。したがいまして、絶対にやめないで下さい。	参考	入浴のご不安に関しましては、デイサービス以外にも、訪問介護や訪問入浴介護、住宅改修費支給等の介護保険制度がご利用いただける可能性がございますので、介護支援専門員（ケアマネジャー）にご相談いただきたいと思います。
4 1	カラオケは単独で存続出来る様に願う。民間業者と協力して料金を取る事も考えては。カラオケで友人が増えた。	参考	現在の「カラオケルーム」は改修せず、「防音室」として、カラオケ、楽器の演奏、歌唱等、様々な用途でご利用いただくことを検討しており、引き続き、カラオケルームとしてのご利用もしていただけると考えております。
4 2	カラオケルーム、単独でカラオケできる部屋を残して下さい。		
4 3	カラオケはボケ防止になってます。 今からも続けて行きたいです。		
4 4	カラオケルームを時々利用しておりました（コロナ前ですが）。今回改裝されると伺い、ひょっとしてカラオケルームがなくなってしまうのかと感じ、とても残念に思いました。シルバーの人達のいこい場ですので、是非とも存続して頂きます様よろしくお願ひ致します。		
4 5	一人暮らししています。		

	居場所作りとして、カラオケルームは残してほしいです。		
4 6	カラオケルームなどは防音室で対応できるように思われていますが、防音室とするとどうしても楽器練習のために使用されがちとなり高齢者がカラオケなどを楽しめる機会は少なくなります。コロナ禍でカラオケを何年かやめざるを得なかつただけで声量や肺活量の減退を感じる高齢者は多くいますし、どうしても若い人たちに遠慮しがちとなり外出することも減ると思います。	参考	老人福祉施設に関するアンケート等で、映画鑑賞等のご要望もあり、カラオケを含め、様々な用途でご利用いただき、健康維持やいきがいづくりの場となるように、整備及び運営面を検討してまいります。
4 7	お風呂とカラオケルームは大勢の人が楽しく利用している。健康に大変良い！	参考	限られた面積の中、また、限りある資源や財源を有効に活用しながら、高齢者のニーズの変化に対応し、より多くの方にご利用いただけるように機能を新規拡充する必要があります。 また、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けていただけるように、介護予防や社会参加となる事業を実施していく必要があると考えております。利用者アンケート、老人福祉施設に関する市民アンケート、市民ワークショップ等において、お風呂が必要とのご意見があった一方で、お風呂は不要とのご意見もありました。その中で、お風呂につきましては、利用者の減少や固定化が見られる、他の機能と比べて維持管理に費用がかかる、市内に民間の温浴施設が立地していること等を総合的に検討した結果、お風呂の廃止を考えております。 現在の「カラオケルーム」は改修せず、「防音室」と

			して、カラオケ、楽器の演奏、歌唱等、様々な用途でご利用いただくことを検討しており、引き続き、カラオケルームとしてのご利用もしていただけると考えております。
4 8	一人になっても、高齢者同士助けあって自立出来るよう応援してもらえるセンターを願っています。	参考	高齢化が進み、独居の方が増加する中、利用者アンケート、老人福祉施設に関する市民アンケート、市民ワークショップ等からも、健康維持、気兼ねなく行ける・居られる場所、適度な人の関わりを求めておられるというお声があり、健康志向の高まり等の高齢者のニーズの変化が見受けられました。 これらを踏まえ、カフェやくつろぎ・憩いスペースで集い、多くの方と交流いただき、介護予防の取組や地域包括支援センター及び健康づくりを行うスペース等を充実することで、高齢者を含め、多くの市民の方にとって、くつろぎと健康・いきがいづくりの場となるよう、整備及び運営面を検討してまいります。
4 9	ボケ防止上もマージャンは良いので設置願う。	参考	「健康づくりスペース」等で健康マージャン等行っていただけると考えております。
5 0	グラウンドゴルフしているが、足腰のリハビリに役立っています。	参考	グラウンドゴルフは、改修予定はございませんので、引き続きご利用いただけます。
5 1	すべての施設の利用を有料化すること。	参考	本施設につきましては、誰でも自由に利用できる施設として、基本的には無料とし、多くの方にご利用いただけるように整備を進めているところです。 なお、現在、当施設では貸館としてのご利用はしていただけませんが、個人及び団体で一室を借切って利用したいとのご要望もあったことから、一部の部屋につ
5 2	唯一の楽しみは年寄どうしが仲間を募り会話やゲームを楽しむことです。気がね無く集うことができる公共の施設は充実こそすれ、有料化、後退などおことわりです。		
5 3	高齢者のいきがいづくりとしてサークル活動		

	をしている。今後も続けていきたい。その支援として、無料で場所を提供してほしい（現在会費を集めることなく活動している）	いて空きがある時は、ご利用いただくこともできるよう考えており、その場合、他の公共施設を参考に有料の検討をしてまいります。
5 4	老人の医療費削減には老人の心身の健康維持を目的に利用している現サークルの継続利用料金の無料が必須。	
5 5	高齢者の生活は年金削られ、物価上がり、社会保障もどんどん悪くなり、そうしたなかでもなぜ有料化なのですか。（有料になったら行かないわという声もあり）有料化は絶対反対です。	
5 6	有料化は止めて、誰もが気軽に利用できるようにしてほしい。	
5 7	一部、有料化するという事は、どういうことか、何故か。誰でも利用できるように安心して、利用できる様にすべきです。	
5 8	コンセプト「誰もが気軽に利用できる福祉の拠点」について このコンセプトを実施するには、無料利用が欠かせません。それなのに、その②基本方針「幅広い世代が利用できる場」の4点目に「公平性・受益者負担の観点から、一部のスペースを有料化にする」とあります。有料化の理由になっている「公平性」とは、何との公平性なのですか？有料化のもう一つの理由「受益者負担」とは、利用する人を受益者と	

	みているということですか？それなら「誰もが気軽に利用できる福祉の拠点」から矛盾しています。施設利用の有料化はすべきではありません。		
5 9	会員さん方は十数名規模で、ハンドメイド、書道、俳句等を楽しんでいますが、それは「静の空間」になります。「オープンスペースを増やしながらも、静と動の空間を作る」には、個人利用とサークル団体利用のバランスが大切と考えます。現在登録の24サークル団体に直接意見を聴く場を持って下さい。	参考	今後、運営方法を検討する際には、現在、サークル登録等ご利用いただいている方々にもご意見をうかがう機会をもうけられるよう、検討してまいります。
6 0	登録団体の制度をなくしたいという事をききましたが、ヨガや3B体操など、今24もある団体をどこがどのように利用するのか、混乱するのでは、ないですか。今は、各団体が、自発的に運営している事は、大変大事な事です。どの様に考えておられるのでしょうか。		
6 1	同じ興味を持ち活動するサークルの育成も、地方公共団体の市が取り組むことと考えます。ですから、従来通りの登録団体システムは必要と考えます。		
6 2	すばらしい施設、利用等よく考えて下さりありがとうございます。高齢のため自動車運転止めました。バス（ピストン、シャトル、コミュニティ）について、意見集約の所に記入されていますが、他（市役所、図書館）も行きにく	参考	施設へはバスの乗り入れをしており、最寄りの電車の駅からも歩道が整備されており、徒歩10～15分圏内にあります。今後も公共交通手段を使ってご利用いただけるよう、バスの乗り入れの継続に努めてまいります。

	く、タクシーで行く時もあります。何よりも細かな移動手段をのぞみます。		また、駐車場は 80 台程度、駐輪場は 40 台程度完備しております。
6 3	今や昔の白タク並の車が走る時代ですので、交通の便も良くして下さい。		
6 4	南側に自転車、横にも歩道を。		
6 5	駐車場は屋根がある方が、小さなお子様づれの方には親切。できれば施設まで雨にぬれずに行けた方が良い	参考	駐車場の屋根につきましては、検討しておりません。現在の施設玄関前のロータリーには屋根を設置しております。
6 6	開館時間 (p4) の延長・日祝開館には、市職員等責任ある配置をお願いします。	参考	基本方針「幅広い世代が利用できる場」の中に記載しておりますとおり「開館時間延長及び日曜開館することで、今まで利用できなかった方に利用いただける施設」としてまいります。運営面を検討する際に、ご意見を参考に人員配置や安全面等にも配慮してまいります。
6 7	曜日、時間等、働いている人も利用しやすいものにしてほしい。		
6 8	高齢者でも定年延長、体力年齢も上がり、60 才以上での利用者も減少です又企業年金等で利用者も豊かな方が多いと思われます。		
6 9	開館時間が長くなると、青少年の治安が不安である。18 時までの方がよい。		
7 0	働き方改革等を考え又連休等も有り、土曜日は休日にしては。		
7 1	カフェ新設について 業者の営業で採算あり? 後日撤退では無駄。 現行のテーブル、イス席、自販機で十分。	参考	カフェの運営を含め、施設の具体的な運営形態等は、現在検討中ですので、ご意見を参考にさせていただきます。
7 2	カフェコーナーでは、飲み物、食べ物の自動販売機を充実した方が良い。		
7 3	カフェ、マージャン等希望の人は多かったの	その他	市民ワークショップ、児童館に関するアンケート等に

	でしょうか？		おいて、カフェのご要望は大変多くいただきました。健康マージャンに関するご要望もありました。
7 4	大住児童館に、上の子が0歳から通わせていただいている。親子教室は、先生のクオリティが素晴らしく家で出来ない経験をさせていただき感謝しています。また、幼稚園入園以降もこどもを覚えて声を掛けていただきありがとうございます。親子教室は、今後も続けて欲しいと思います。	参考	親子教室も含め現在児童館で実施している事業につきましては、可能な限り継続できるよう運営面を検討してまいります。
7 5	大住、松井ヶ丘地域は高齢化率40%以上と言われております、これから益々高齢化が進むと考えられる。宝生苑が老人にとって唯一のくつろぎの場であり、体操、カラオケ、囲碁と他人との交流の場である。今あるものは是非とも残して欲しい。 介護予防、認知予防に多いに貢献していると思う。	参考	高齢化が進み、独居の方が増加する中、利用者アンケート、老人福祉施設に関する市民アンケート、市民ワークショップ等からも、健康維持、気兼ねなく行ける・居られる場所、適度な人の関わりを求めておられるというお声があり、健康志向の高まり等の高齢者のニーズの変化が見受けられました。 これらを踏まえ、体操等を行っていただくことを想定しております「健康づくりスペース」を現在のスペースより拡充し、現在の「カラオケルーム」は改修せず、「防音室」として、カラオケ、楽器の演奏、歌唱等、様々な用途でご利用いただくことを検討しております。囲碁・将棋等を「くつろぎスペース」や「憩いスペース」でご利用いただき、多くの要望があつた「カフェ」を設け、誰もが気軽に利用でき、多様な世代が集うことができる場、さまざまな方の居場所やくつろぎと健康・いきがいづくりの場となるように、整備及び運営面を検討してまいります。
7 6	大住ヶ丘や松井ヶ丘の高齢化率はどんどん上昇しており、カラオケやお風呂などを整備した宝生苑のような施設の必要性は高まっても下がることはありません。宝生苑の現行施設の高齢者使用部分は基本的には今まで継続して欲しいと思います。		
7 7	1ヶ月に4回利用させて頂いています（定期的に）。それ以外にも市内の友人と会ったり、おしゃべりをしたりしています。 高齢者にとって、地域の中で体を動かした		

	り、趣味の集まりとして、大切な場所です。今までと同様に利用できる様お願いします。グループとして、定期的に使用できる部分を作って頂きたいと思います。		
7 8	社会福祉協議会の社会福祉センターの利用状況をみていると、多くのサークルがセンターを利用しているから、1F の交流スペースやカフェも世代を超えて利用され、交流も広がっているように見えます。個別対応できる部屋とフリースペース両方必要で、現状で無理なら2階建てを考えたらどうでしょう。社会福祉センターのカフェスペースは、南部住民センターの貸出ブースとは違って、社会福祉センターが運営しているので、安価（コーヒー￥130）で提供され、交流に役立っています。	参考	「健康づくりスペース」は、可動式の間仕切りにより、部屋を区切ることが可能になる予定ですので、様々な用途にご利用いただけたと考えております。また、2階建ては、構造的に不可能であるため、限られた面積の中、また、限りある資源や財源を有効に活用しながら、高齢者等のニーズの変化に適切に対応し、より多くの方に利用いただけるように、整備及び運営面を検討してまいります。
7 9	この施設で、高齢者と児童館を一緒にすることは、狭すぎる。2階建てにするなど、必要だと思います。		
8 0	とうちくセンターと合併し、大住ふれあいセンター2階に図書館、自習スペース、ミニ体育館を設置し体育館ではイベント等もできるようにする。（大住ふれあいセンター2Fを増設、とうちくセンターを第2駐車場にする）		
8 1	今までとおり個室を作つての利用希望（ヨガ、体操、手芸等）オープンスペースの一隅では集中して学び、作業することは難しい。	参考	「くつろぎスペース」はオープンスペースとして、誰もが気軽に利用でき、多様な世代が集うこともできる場所としていく予定です。

	オープンで他の視線を感じながらでは、大変不快、これは子供も若者も老人も同感でしょう。		ヨガや体操等を行っていただくことを想定した「健康づくりスペース」は現在の「ふれあいルーム」を拡充した部屋として、高齢者の健康やいきがいづくりの場となるようにしていきたいと考えております。また、可動式の間仕切りにより、部屋を区切ることが可能になる予定ですので、様々な用途にご利用いただけると考えております。
8 2	くつろぎスペースで、誰でもが将棋・囲碁などやってよい。手芸も良いミシンなども持つて来て、本当に良い環境になるのか。仕切りなど必要です、又、電源も必要です。		
8 3	何とか宝生苑でのレッスンが少しでも維持して継続していけたらと願います。今のふれあいルームのような個室でできたらと願います。		
8 4	提案に「オープンスペースを増やしながらも、静と動の空間を作る」とありますが、p7 「ゾーニングイメージ図」では、それが図れるのか心配です。	追加・修正	静と動の空間を具体的にイメージをしていただけるよう、ゾーニングイメージ図に現時点での想定機能を記載させていただきました。カフェやくつろぎ・憩いスペースで集い、多くの方と交流いただき、読書スペースで静かに過ごしていただけるよう、整備及び運営面を検討してまいります。
8 5	フリースペースを多くとり誰でも使用可能と言うのは聞こえは良いが、どちらつかずになり、老人・子供の衝突事故も起きかねないとと思う。	参考	基本方針「幅広い世代が利用できる場」の中の「施設内の利用年齢の区切りをなくすことで、若者等世代の狭間で利用できなかった方等の幅広い世代が利用できる施設とします。」との記載のとおり、誰でも利用できることで、お孫さんと一緒に高齢者がご利用いただける等幅広い世代が利用できると考えております。時間や場所に応じて利用者層の変動があると考えており、それも考慮しながら、整備及び運営面を検討する際には、安全面も含め配慮してまいります。

8 6	調理室は、まだあまり使っていない器具が多い。これは、利用すべきです。例えば、高齢者やこども食堂などやつては、どうでしょう。	参考	調理室は近隣の北部住民センターに類似機能があるため、今回の整備の際に廃止を検討しております。現在の器具につきましては、ご意見を参考に、今後の活用を検討してまいります。
8 7	p7「ゾーニングイメージ図」について 図に調理室はありませんが、災害時対応として公的施設には必要と考えます。現在の調理器具も生かせると思います。		
8 8	流し台は使用できるのか、レンジは・・・どこまで使えるのかはっきり示してほしいです。		
8 9	大きなトランポリンを増やして欲しい。遊び場が増えて欲しい。	参考	大きなトランポリンの増設につきましては、設置及び収納スペースの課題はありますが、遊具を揃える際の参考にさせていただきます。
9 0	水遊びスペースには開閉式テント（屋根）があれば良い。すぐそばに子どもの脱衣スペース、ロッカーがあれば良い。	参考	水遊びスペースの横には、可動式の日除けルーフ等を考えております。
9 1	地域子育て支援センターと屋内子ども広場は完全に分けた方がよい。	参考	地域子育て支援センターと屋内子ども広場を併設することで、きょうだいで利用ができないといった、これまでの問題を解決してまいりたいと考えております。
9 2	近接する 北部住民センターのくつろぎサロンなど機能の重複は見直すものでは。	参考	調理室等は近隣の北部住民センター等に類似機能があるため、今回の整備の際に廃止を検討しております。
9 3	ホールの使い方が、不明。卓球などされるのか。イベントはそんなにあるのか。こんな広いスペースをもっと、有効に活用すべきです。ヨガが 3 つもあり、3B 体操など健康スペースももう 1 つ必要では、ないでしょうか。	参考	「健康づくりスペース」は現在より広くお使いいただけるよう考えております。また、「ホール」は現在の機能を維持しつつ、運営面を検討してまいります。

9 4	大きく整備・改築する必要は全く感じない。するのであれば最小でよい。最小だと多額にもならず、閉館も短期となる。閉館が 1 年という長期になると高齢者にとり生活の質が大きく落ちる。	参考	工事中は、大きな資機材の出入りが考えられ、利用者の安全を第一に優先し、屋外機能も含めて、全館休館といたします。また、全館休館とすることで、工期の短縮につながります。再開までの期間は、大変ご不便をおかけいたしますが、老人福祉センター常磐苑や北部住民センター等の他の公共施設のご利用についてご検討いただきたいと考えております。
9 5	R8 年度中閉館の件 一斉工事契約ではなく、各館の工期をずらし、工事完了エリアの年度途中利用を希望する。高齢者はコンスタントに外出し、仲間との目的向かって励む機会が必要。ときれると気力、体力が著しく失われ結果、ひきこもり→医療保険負担増。	参考	
9 6	「地域子育て支援センター松井山手」立地条件や利便性の確保は特に重要である。大住ふれあいセンターは、鉄道駅やショッピングゾーンから外れており、親子にとっては不便で、かつ一時預かりによる効用も薄れるため、松井ヶ丘幼稚園は、統廃合の予定であり、その跡地建物（園舎 1 : 486 m <sup>2</sup> (昭 53 建築)、園舎 2 : 466 m <sup>2</sup> (平 16 建築)）の活用として、北部における子育て支援拠点（地域子育て支援センター、児童館、相談支援、出張健康診査等）の設置が考えられる。松井ヶ丘幼稚園の跡地建物に、「北部における子育て支援拠点」を整備し、それまで「地域子育て支援センター松井山手」は継続設置とする。 ※「地域子育て支援センター松井山手」の利	参考	妊娠・出産・子育ての様々なニーズに対応する切れ目のない支援及び地域で子育てできる環境の整備を行うという視点に立ち、各地域に点在している子育て支援施設機能（児童館・地域子育て支援センター）を、北部・中部・南部の生活圏ごとに「子育て支援拠点」として再編を進めております。 また、市全体の施設配置等のあり方につきましては、今後検討を進めてまいります。

	用者に聞き取り調査などを漏れなく実施し、現在の利用状況や移転による利用への影響等を精査することが求められる。		
9 7	誰でも利用出来ると言うのは理想だが、限られた敷地では無理。松井ヶ丘幼稚園も将来的に廃園になると思うので、跡地に子供園を作れば良いと思う。		
9 8	松井山手駅周辺のマンションや新しい住宅からはとうちくや宝生苑などの施設はアクセスも悪く児童センターは旧松井ヶ丘幼稚園などを整備して使いやすくすることが市北部の喫緊の課題		
9 9	ワークショップに参加したかった（学校休めなかった）	参考	大住ふれあいセンターの施設整備にあたり、市内の小学校 5 年生から高校生の年代までにアンケート調査を実施するとともに、大住児童館を利用している子どもたちから直接話しを聞いてまいりました。 今後、市民の方への説明の機会を設ける際は、子どもたちも参加できるような日程を検討してまいります。
1 0 0	今回の計画を進めるときの意見集約やワークショップを開催する際、利用している子どもたちも参加できるような日程設定をお願いしたいです。		
1 0 1	ワークショップに参加させていただきましたが、大人達が意見を出して決めていくのに違和感を感じました。児童館をよく利用している子ども達にも変わることを伝えたり、意見を聞いて欲しいと思いました。（パブリックコメントというワードが子どもには難しい。意見箱とかで）『こどもまんなか』を京田辺市が発信しているので是非実現して欲しいです。		

102	<p>p3 児童館アンケート結果等からの考察について</p> <p>その考察に「全ての子どもを対象として・・・自主性、社会性を育み、安全・安心に過ごせる場所としての役割を果たす・・・」とあるのは、「子どもの権利条約」を生かす点で私たち団体が目指すものもあり賛同です。</p> <p>又、「自習室や運動スペースの需要の高まりが見受けられました」とありますが、そのためにも、小5~高3のアンケート対象者の具体的意見を聞く場を設けるのはどうでしょう。私たちが知る範囲では「バスケットボール、ボルダリング、スケートボードコーナー設置」等です。</p>	参考	<p>児童館アンケートは、アンケート対象者に自由記載でご要望やご意見を伺い、「児童館アンケート結果等からの考察」の中で「自習室や運動スペース」として集約させていただきました。自習室につきましては、誰もが利用できる「自習スペース」を設ける予定をしております。また、ボール遊びや様々なスポーツの場のご意見を大変多くいただきましたので、ボール遊びも可能な「屋外運動スペース」を設ける予定をしております。「屋外運動スペース」での活動内容及び運用方法は、子どもたちの意見を取り入れながら検討してまいります。</p>
103	この構想案をサークルに提示していただけたら、もっと内容を把握し意見を把握し意見を寄せられたかなと思います。	参考	基本構想（案）についてのパブリックコメント実施について、7月号の広報ほっと京田辺に掲載する他、大住ふれあいセンターの玄関や、入口すぐの場所にも案内を掲示させていただいておりました。
104	これから決めていくのであれば、もっと市民の声を聞く機会を作ってほしい。		また、高齢者や児童へのアンケート等の実施や団体やサークルを含む施設利用者を対象にヒアリングや意見箱を設置しました。市民ワークショップも実施いたしました。
105	説明会をもっと開いて、多くの市民の要望もとり入れてほしい。		今後の具体的な内容につきましても、広報等により、お知らせしてまいります。
106	コンセプトの「誰もが気軽に利用できる福祉の拠点」をつくるため、パブコメで終わらず、基本構想を登録団体・児童館アンケート対象者・希望者等との直接対話の場を持って下さい。多くの市民に知らせる努力をして下さい。		

	さい。実施設計は市民の声が集められたものにして下さい。		
--	-----------------------------	--	--

問い合わせ先 健康福祉政策推進室

電話 0774-64-1370

Eメール [pp-fukushi@city.kyotanabe.lg.jp](mailto:pp-fukushi@city.kyotanabe.lg.jp)